華風

特定非営利活動法人国際音楽協会
発行：2026年7月吉日　第１１０号
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 2-13-9
http://www.zhonghua-huiguan.com/music/
TEL 078-392-2711　　FAX 078-392-2811

1999年から26回続いた中国音楽コンクール

理事長　張文乃

2026年6月14日（日）11時から、第26回中国音楽コンクールを無事15組の出場者に恵まれて開催致しました。オーストラリアからのご参加もあり、中国音楽の演奏にも熱がこもり、どの方も素晴らしい演奏でございました。コンクールを始めた頃は、参考資料も少なく70組の出場者が本当にご苦労されて演奏に挑まれたお姿は、今も頭をよぎります。以降、2000年とコロナ禍でコンクールを2回中止しましたが、お陰様で皆様の熱意とご理解により今日まで続けることが出来ました。2006年からは中国の杭州と日本の神戸で二年おきの中国音楽国際コンクールを6回開催致しました。この2つのコンクールで入賞された方達はそれぞれにご活躍をされ、世界へ羽ばたいておられます。

来年からはジャンルを広げ、**「華風杯　世界音楽コンクール」**と名前も新たに27回目のコンクールを開催する運びとなりました。協会一同新たなる出発に大きな期待を抱いております。

5月17日(日)には中華会舘7階東亜ホールにて午後2時より「鳳歌80　十周年記念リサイタル」。80代2人、90代6人が約20曲、うち一曲はミュージカルのナンバーを見事元気よくお歌いくださいました。ミュージカル以外は全曲暗譜で歌われたことも客席の皆様の心をつかんだようでした。素晴らしい感動を有難うございました。

5月24日(日)は私ども協会の年に1度の総会でございました。六甲荘にて朝10時から11時半迄役員会。11時半から総会、懇親会と続きました。今後のことを確認しあう、和やかで有意義なひとときを過ごしました。

5月25日（月）午後2時より中華会舘6階ロビーにて第64回ロビーコンサートを開催致しました。ゲストに南京町の老祥記会長曹英生先生をお迎えして、老祥記発祥のお話、豚まん発祥のお話など興味深く1時間半にわたり、ビデオを放映しながらのご熱演に、客席はなるほどと一つ一つ謎が解明されていくがごとく、熱心に耳を傾けておられました。まだまだお話は興味深く、皆様からのご要望に会長様は、次回は社長がお話しさせて頂きますとのお言葉を頂戴し、大きな拍手がわき、皆様の期待の大きさを感じました。特別に注文致しました出来たての800コの豚まんも講演後即完売！あらためて豚まんの人気にも驚きでございました。素晴らしい！のひと言でございました。次回がまた楽しみでございます。

5月31日(日)中華会舘7階東亜ホールにて「楽しく歌う会結成25周年記念コンサート」を開催致しました。沢山のお客様に恵まれ、素晴らしい曲の数々が次々と披露され、思い出に残るいい演奏会が出来ました。団員一同練習の成果達成に安堵されておられました。益々素敵な歌を発掘していただきたいものでございます。

皆様本当におめでとうございます。

音楽の素晴らしさってなんだろう？　と、ふと考えることがあります。

そして、私の心は答えます。「どんなときでも心をいやしてくれる優れもの！」だと。

音楽で、安寧で平和な時間にいつも身をおける幸せに、私は、ただ感謝あるのみでございます。どうぞ、皆様も、心に音楽を！

5月17日(日)　「鳳歌80　十周年記念リサイタル」

横浜市在住 大塚由香里(「鳳歌80」 岡美智子 長女)

先日の鳳歌80結成10周年記念コンサートでは大変お世話になりありがとうございました。

母は九十代となり、半年前から一人での外出が難しくなりました。レッスンにも通えておらず、コンサートへの出演はあきらめようとご連絡をいたしましたところ、「ぎりぎりまで回復を待ちますから、ぜひご一緒に」と仰っていただきました。

その電話の時そばにおりまして、あまりに温かいお言葉に心を打たれ、私にできることはないかと思い、コンサートまでのレッスンに付き添うことにいたしました。

コンサート当日は、皆さま本当に溌剌としたお姿で歌われていて大きな力をいただきました。長年お世話になっている張先生はじめ「鳳歌80」の方々、支えて下さっている方々には、いつも感謝の気持ちでいっぱいでしたが、今回、母が皆さまと一緒に舞台に立てましたことは本当に感謝してもしきれません。ありがとうございました。

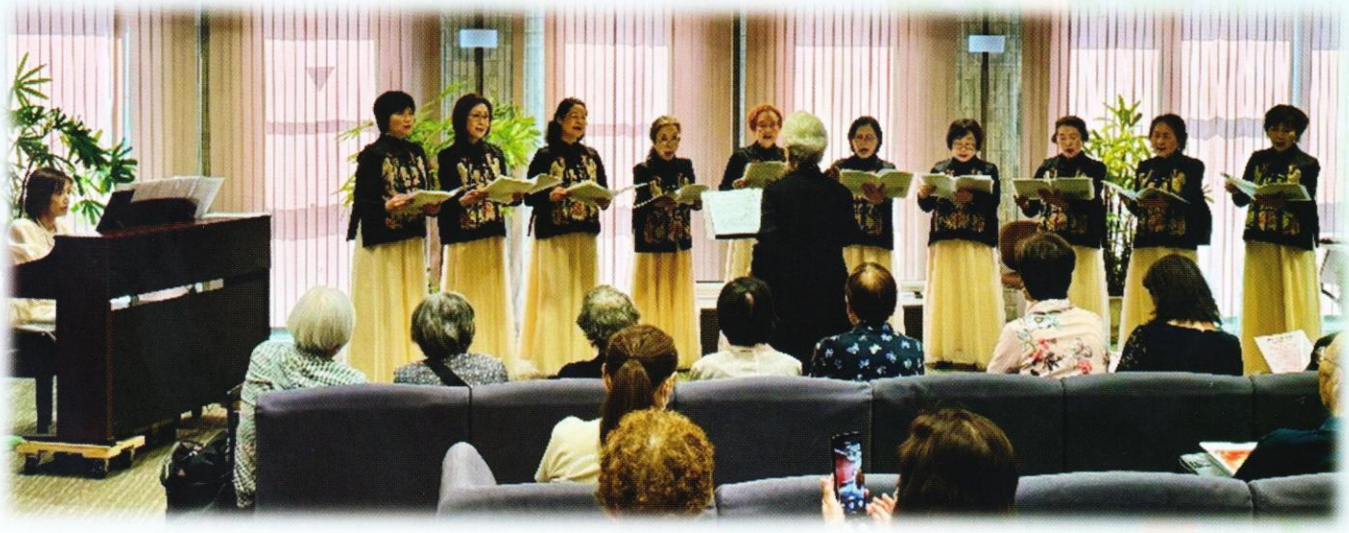
また皆さまの歌声を聴きに伺える日を楽しみにしております。

今後のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

5月24日(日)「NPO法人国際音楽協会 総会」

5月25日(月)「第64回ロビーコンサート」

老祥記　曹 英生 会長とみんなで豚まんハンドサイン

曹 英生会長による講演「静の店づくり、動の町づくり」

国際女声アンサンブル

5月31日(日)「楽しく歌う会結成25周年記念コンサート」

楽しく歌う会とお客様の合同写真

25周年記念コンサートを終えて

楽しく歌う会 谷口洋子

2001年6月に結成された「楽しく歌う会」が早25周年を迎えることになりました。
当初は90名近く会員がおりました。しかし現在では10名と少人数になりましたが、この記念コンサートを目指して一同練習に励んできました。
今回のコンサートの選曲の中に、10周年・15周年・20周年の時に歌った曲を一曲ずつ入れました。10周年で演じたミュージカル"キャッツ"の中から「メモリー」。張先生がこの時ソロで歌って下さり今回もその美しい歌声を披露して下さいました。15周年の"サウンド・オブ・ミュージック"7人の子どもたちになりきって歌った「さよならごきげんよう」。その時の仲間のかわいいパフォーマンスが歌っている私の目の前に浮かんできました。
20周年はコロナ禍の中で無観客のコンサートとなり、残念な思いもしましたが、今回「ビューティフル・サンデー」を聞いていただけて良かったです。色々な思いの詰まったコンサートでしたが、このコンサートを成功させるために頑張ってくれた仲間の皆さん、御指導して下さった張先生、伴奏を快くお引受下さった近藤先生、そしてお暑い中会場までお越し下さった観客の皆様には感謝の思いしかありません。この場をお借りして"ありかとうございます"と申しあげさせていただきます。
これからも楽しく歌う会はできる限り長く続けていけたらいいなぁーと思っています。

ここで会場にお越し下さったお客様の御感想を頂だいしておりますので、披露させていただきます。
〇張先生、楽しく歌う会の皆様お疲れ様でした。素適なコンサート有難うございました。歳を重ねると、新しい事にチャレジすることには二の足を踏み易くなります。が、たとえ完璧でなくても、目標に向かって研鑽を積まれる皆様には心よりリスペクトの念を抱きます。
これからも素適なハーモニーを紡いでいかれるのを楽しみにしています。
〇皆が先生のことを慕っているのがよくわかる、みんなでお互いをよく聞きあって1つになってるなぁと思いました。誰一人として、私が〜って歌ってる人がいないです。皆が張先生の方を向いている。皆が歌を張先生を愛している気持ちが伝わってきました。曲もバラエティーに富んで飽きなかったです。朗読も、わかりやすく歌の流れを自然につないでいて素適でした。
結成当時は、メンバーが90人もいらしたとは驚きでした。
人数は少なくなりましたが、25周年を迎えたことに意義を感じました。
〇とても良い雰囲気のコンサートだった。楽しい時間をありがとう。
〇沢山の歌を聴かせて貰って〜練習が大変だったと思います。
〇歌の終わりの方で、これだけだったら少し寂しいなと思ったんですが、先生のお話しがあって、とても温かい気持ちになりました。
〇中国歌の4曲が特に良かった。

以上です
御感想もお寄せ下さってご皆様,本当にありがとうございました。
謝謝!!

6月14日（日）「第26回中国音楽コンクール」

金賞：楽しく歌う会

銀賞:右・緒方七緒
:左・国際混声合唱団

銅賞：中島琴美

銅賞:右から中山靖子・クワイア・張文乃・前川三枝子

審査員特別賞：井上豊

お手紙をいただきました

ＮＰＯ法人国際音楽協会設立２５周年記念「感謝の集い」

マキチエ株式会社 神戸店　大西 輝明

2026年2月22日（土）正午、設立25周年NPO法人国際音楽協会「感謝の集い」には、約120名の錚々たるゲストと会員の方々で、会は大変盛り上がりを見せました。

「動員に勝る演出なし」このセリフを彷彿とさせる、煌びやかな雰囲気に会場は包まれておりました。その中に、若輩者の私が参加させていただてもよいのでしょうかと、些か躊躇もございましたが、この場に居合わせていただけた感謝とともに、当日の盛会を感想文として、ここに記させていただきます。

張文乃先生の活動の源には、歌や音楽を通して日中友好を紡ぎ、それに留まる事なく、世界平和へと繋いでゆくという、壮大で熱い想いが込められていると、私は常々感じております。

そこに賛同される方々からの、会当日のお祝いのお言葉群は、安易には表現できない程に先生と協会の皆様への賛辞と敬意が込められており、拝聴する者の共感、共鳴を大いに呼び起こす内容でした。

その活動の四半世紀以上を物語る、今回の一冊の出版本には、先生の人生の歴史を辿るものとなっており、大半がカラーページで非常に拝見し易い構成で仕上がっています。

先生から、「この本が完成するまでに、約3～4倍の資料を用い、その中から厳選致しました。」とのお話しをお伺い致しました。

本の中には、ご親戚にあられます、陳舜臣氏の活動の記録をはじめ、ベートーヴェン愛用と同仕様のピアノや周恩来先生の詩碑設立等、歴史上の人物にまつわるエピソードも多く掲載されており、読み手側の力量も試されるほどの重厚な内容に仕上がっています。

「再度、同じような本を出版する事は、なかなか出来ませんね。」

張文乃先生の生涯現役の人生を掛けた尊いストーリーは、またここから一歩ずつ、留まらずに継続していく事を我々に感じさせる会でありました。また、傑出した一冊がここに完成した事で、その功績を永く後世にも多くの方に語り継がれるものが生まれたのだと感じております。

誠におめでとうございます。これからも益々のご活躍にあたり、くれぐれもご自愛くださいませ。

ＮＰＯ法人国際音楽協会設立２５周年記念「感謝の集い」

こども詩の会 坂本章・今井美之・橋本正勝

国際音楽協会設立25周年おめでとうございます。

2月の感謝の集いにお招きいただき、張文乃先生の御心が滲み溢れる心温まる時を、普段お会いすることの出来ない違大な方々との出会いと共に、頂戴いたしましたことに深く感謝申し上げます。

私共「こども詩の会」も、75周年を迎え、月一回幼・小・中学生と大人の40数名で、ことば磨きを続けております。張文乃先生との出会いは、岡本季也・物部一郎先生(当協会会歌作詞・作曲者)のお導きで、かれこれ30年になります。

毎年一回、一年間のこどもの作品を編集した「こども詩の会詩集」をお送りする度に、張先生は「私に命を与えてくれた宝物です。」というお言葉とこども達への御心遣いを送ってくださいます。

「一期一会」出会った日から今も、小生を家族の一員として包んでくださる張文乃先生の人徳に満ち溢れた集いの会でした。謝謝!

日中国交正常化50周年を寿ぐ
相敬如賓～歌で紡いだ絆

神戸市経済観光局国際課課長　仲宗根晶子

NPO法人国際音楽協会25周年の歩みを改めて学ばせていただきました。

張文乃先生が、音楽を使命として掲げ、神戸の地で中国をはじめ世界を繋いできた軌跡が良く伝わる大変貴重な資料でございました。児童合唱団からシニアの皆様まで、先生のもとで音楽を学ばれてきた皆様の歩みは、なんと豊かで恵まれたものであったことでしょうか。また、各界の方々との親交や、神戸市と天津市の友好都市を取り持ってくださった周恩来先生の詩に曲をつけられたエピソードなど、深い感銘を受けるとともに、いつも優しい笑顔で優美なお姿の陰に、難病を克服されたご経験があったことにも、心を打たれました。

張先生には、いつも神戸市と中国との交流に惜しみなくご尽力を賜ってまいりましたこと、深く感謝申し上げます。どうぞこれからもご自愛いただき、音楽を通じて日中友好のかけはしとして、益々ご活躍されますことを願っております。

令和８年５月２日

２０２６年５月１日、特定非営利活動法人「国際音楽協会」設立２５周年お目出度うございます。心からお祝い申し上げます…！

去る２月２２日、日中国交正常化５０周年を寿ぐ「相敬如賓～歌で紡いだ絆」の名のもとに、法人設立２５周年・神戸市天津市友好都市提携５０周年・日中平和友好条約締結４５周年記念式典に参加させていただきありがとうございました。

会場では溢れんばかりの笑顔と熱気に包まれた参加者を眺め、「類は友を呼ぶ…」のだ…と、国際音楽協会の発展を確信しつつ帰途につきました。

その折頂いた張文乃編「相敬如賓～歌で紡いだ絆」を拝読すると、国際音楽協会の原点である活動の芽は、５４年前の１９７２年、日中国交正常化の年に胎動し始めていたのですね…！

私が関わる「劇団すぎのこ」の国際交流活動はそれより４年後、１９７６年ハワイでの昭和天皇皇后両陛下渡米記念日米協力慈善事業に「人形と舞踊による八百屋お七」で参加した事に始まり、以後、韓国や台湾等近隣の人形劇人関係者との交流が主でした。

本格的な国際交流は１９８５年筑波での科学万博の年、上海木偶（人形）劇団の「紅い宝石」を招聘し、万博会場他日本各地で公演したのが始まりでした。　私はそんな中国との関わりの中で、二つの言葉を学び、人生訓として今も大切にしています。

その一つは、国際音楽協会のレパートリーにもある「雨中嵐山」の詩を書かれた周恩来首相が、日中国交正常化の折りに発した言葉「日中間に起きた過去の不幸な出来事を、日本人は忘れてはならない、中国人は忘れなければならない…」です。

もう一つは、孔子の「論語　為政第Ⅱの10」に出てくる、子曰「視其所以　観其所由　察其所安　人焉廋哉」です。　私なりの解釈ですが、孔子様が仰有るには「その人の為す事（行動等）を見、その人の身の寄せ所（仲間等）を観、その人の拠り所（信奉するもの等）を察すれば、その人となり（人間性）は、隠す事が出来ない…！」と言う言葉です。

周恩来先生からは、人と人との関わりにおいて、根底に据えるべきものを…！

孔子様からは、己の為すこと考えることを他人様はしっかり見ていると言う事を、故に日頃の言動行動にはよくよく留意し、一貫性を持たなければならない事を…！

私は、中国にも韓国にも、尊敬し仲良くさせて頂いている友人が大勢います。ところが最近の国と国との関わりを見た時、敵愾心ばかり煽られ実に嘆かわしい限りです。中国でも韓国でも「親日家」と言えば非難中傷され、せいぜい「知日家」しかいません。こうした偏った土壌がある限り真の友好は育たないと思います。

真の理解とは、固定観念と言う色に染まり固まる前の幼少期から「自分の目で観、耳で聴き、身体で感じる…、五感すべてを使って得た知識と価値観」から生まれるものではないでしょうか…。

そんな思いからすぎのこでは１９８９年「子どもの、子どもによる、子どものための国際交流」と銘打って、日中韓の子ども達が、同じ釜の飯を食い、同じ遊びや体験をする野外活動「国際わんぱくクラブ」を、日本では群馬県嬬恋村で、中国では内蒙古自治区で、韓国では漢江流域で５年毎に開催して来ました。

また、１９９１年からは、中国各地の少年宮と、その地区の雑技団の子ども達から成る「中国少年友好芸術団」を編成招聘し、日本では松尾芸能財団育成の「子ども歌舞伎」の子ども達と交流を持つなど、子どもどうしの交流を何度も展開してきました。

出来得るならば　国際音楽協会にも「ゆりかごから鳳寿迄」～の子どもも加えた国際音楽交流も展開出来れば…と願って止みません…！

追記／北京から「中国少年友好芸術団」を招いた１９９１年、当法人の評議員だったアンパンマンの作者「やなせたかし先生」が友好の詩を寄せて下さいました。　アンパンマンのように、日中のみならず世界中の人々に平和がもたらされん事を願って、その詩をご紹介します。（その年の４月、やなせ先生は勲四等瑞宝章を受賞されました）。

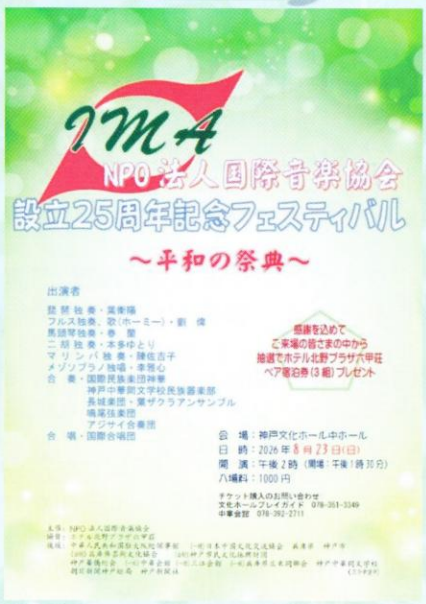
「ともだち」

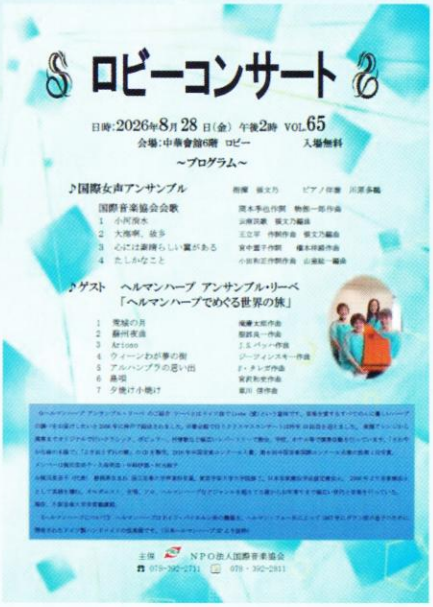
どういうわけなのでしょうか　私は中国へ旅行すると　異国に来たという感じがしません
故郷へ帰ったように　心が落ちつくのです
私の父は上海で青春時代を過ごし　私の名前の嵩は　落陽に近い嵩山からとったのです
でも私はまぎれもなく日本人で中国語は話せません　それなのに中国の人とは
すぐ仲良しになれる　他国の人と思えないのです　政治とか国境とか　そんなことは問題ではなく
私たちは切ってもきれない　双生児のようなものだと思います　心のせまい人のことはさておいて
よろこびも悲しみも　わかちあいたいのです　まして　芸術に国境も人種もあるはずがなく
私達はごく率直に　感動しあえる仲間です　中日親善というような言葉は　かえって水くさい
私達は悪口だっていいあえる　けんかだって出来る　お世辞なんかいわなくていい
本当の友人なのです。

やなせ　たかし

公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会
顧問　小澤幸雄

演奏会のご案内





国際音楽協会会員一覧　2026,7,25

愛新啓志　安宅燕子　井手加奈子　池本茂代　稲垣せい子　岩井理枝子　内田和子　江田正子　圓尾直子　大島薫　王桂子　大森一幸　大森貴子　岡美智子　岡本文代　尾川真穂　小澤幸雄　何慧貞　加藤すみ子　加藤晴美　門川洋子　川野真広　岸本千雅　北國千津子　喜多村クニ子　木村千賀子　金栄輝　金裕三　黄仁群　高智子　小嶋民子　小谷節子　児玉幸子　小山やす子　近藤由起　呉富美　呉美麗　呉穎　後藤みなみ　崔康来　坂本環　笹岡敏子　佐々木麗子　佐藤純子　佐藤和貴郎　佐藤真由美　里見慶恵　里見富美子　施智恵　施優美　史絢華　芝邦子　嶋津マサエ　島田楊子　白井祐実　庄司広美　謝瑞華（林岑華）　周琴　正田富美　進藤善吾　進藤麗子　鈴木昇畝　石鋒　妹尾美加　仙堂桂香　曽兆華　田方克典　竹崎美栄子　竹田敦子　田尻幹夫　谷永梅　谷口洋子　張述洲　張文乃　陳佐吉子　鄭正秀　鄭恵姫　鄭莉紗　永井和子　永田恵子　中西ヒナ枝　中野貞弘　中前幸子　中村紀　並河京子　鳴尾牧子　新渡戸翔太　二宮美里　野澤睦子　橋本博子　春田芳子　春本佳和　日置春彦　平田英治　付一丁　福島志津子　藤浦佐知子　藤澤一範　藤田富美子　船越浩司　文暁鈴　本間章禎　槙一仍　松田涼恵　松村尚麗　水島久子　湊義光　南川弥生　宮本博　村井和子　村田保子　毛偉　元山昭子　物部一郎　物部紀美子　森田茂夫　八木一文　山本伸子　弓岡君枝　横山昌司　淀井武弘　李浩麗　李彩　李初容　李雅心　劉衛芳　林同福　盧秀卿　山道敏子　游小琛　一宮神社　(株)廣記商行　神戸博愛病院　一般財団法人三江会館　コーラスわかば

会　員　募　集

皆様ご一緒に活動しませんか

♪　あなたの夢と希望を音楽の翼にのせて世界へ羽ばたかせてみませんか　♪

	正会員（個人・団体）	賛助会員（個人・団体）	学生会員
入会金	¥1,000	¥1,000	¥1,000
年会費	¥5,000	¥5,000（一口）	¥1,000

国境を超え言葉を超えて人々の心を癒し、また時には鼓舞し、豊かにしてくれるもの。それは美しい調べ、音楽です。メロディーを聴けばどこの国のものか分かるほど、音楽はその国の歴史と文化をものがたります。

〈振り込み先〉　ゆうちょ銀行　記号００９３０－８－番号１２２７０４
トクテイヒエイリカツドウホウジンコクサイオンガクキョウカイ

問い合わせ　〒650-0011　神戸市中央区下山手通 2-13-9（一社）中華会舘内
特定非営利活動法人　**国際音楽協会**
TEL078－392－2711　FAX078－392—2811